

施工計画（案）について

1 公害防止対策

(1) 騒音対策

低騒音型建設機械を使用し、低騒音となる工法を採用するとともに、防音シートを設置し、工事工程については可能な限り一か所集中工事を行わないよう計画します。

作業時間を遵守し、周辺的生活環境への影響を防止します。

適宜、騒音測定を行い、必要な対策を実施します。

(2) 振動対策

低振動型建設機械を使用し、低振動となる工法を採用するとともに、工事工程については可能な限り一か所集中工事を行わないよう計画します。

作業時間を遵守し、周辺的生活環境への影響を防止します。

適宜、振動測定を行い、必要な対策を実施します。

(3) 排水対策

工事区域内に降った雨水については沈砂池を設置し、濁水の流出を防止します。

また、地盤改良材等を用いた場合は、水質をモニタリングし、必要に応じて pH 調整や薬剤処理を行います。

(4) 粉じん対策

散水による粉じんの防止や、工事区域内の清掃を随時行います。

(5) 周辺道路対策

土砂運搬車両退出時はタイヤの洗浄を行うことで、周辺道路への土砂の持ち出しを防止します。

工事関係車両については、騒音、振動の防止に配慮した走行速度を設定し、遵守します。

2 安全対策

(1) 建設作業

建設作業従事者に対して定期的な安全教育を実施します。工事関係車両の出入口には交通誘導員を配置し、入退出時の安全性を高める計画とします。

(2) 交通管理

工事関係車両の通行ルート及び時間帯を規定し、周辺道路の渋滞を回避します。工事関係者の通勤車両台数を減らすために、通勤車両の相乗に努めます。

3 建設廃棄物対策

工法等の検討を行い建設廃棄物の発生抑制に努めるとともに、工事において発生する廃棄物については建設リサイクル法に基づき分別、再利用・再資源化を行います。併せて廃プラスチック類についても再利用、再資源化に取り組みます。

また、発生する廃棄物については種類に応じて適正に処分します。

4 緊急時の対策

台風、集中豪雨等が予想される場合には、必要に応じて沈砂池の貯留量を一時的に確保するための仮側溝や仮沈砂池の設置、造成面や法面へのシート掛け、土嚢による養生等の措置を講じます。

5 工程計画

可能な限り工事工程の平準化を図り、集中工事期間を分散し、工程計画を進めます。